



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2019年10月18日

発行NO 2019 - 24号

この度の台風被害で被災された皆様に 心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

◎ 理事会から

- ◎ 全日畜は、取り巻く諸情勢に対応する必要があることから、10月8日、今期2名の理事を増員して役員11名に拡充した体制で第3回理事会を開催し、今年度上半期の活動等の点検を行った。
- ◎ 会議では、受託事業を中心に実施状況等の点検を行い、2件のJRA事業（スマート畜産、雇用確保）、1件のALIC事業（養豚実態調査）ともに順調に進捗していることを確認した。なおスマート畜産については最終年度であり下期には自己評価の実施を確認した。



(金子理事長から台風被害のお見舞いも含めて開会のご挨拶)

- ◎ 今後の事業展開に関する意見交換では、最近の自然災害の猛威を踏まえて、災害に強い生産基盤づくり、生産現場の足元の強靱化、生産現場の危機管理の強化等が検討課題として上がった。

◎ 運営委員会から

- ◎ 全日畜運営委員会は、10月2日、第2回運営委員会を開催し、今年度上期の執行状況等の点検を行った。
- ◎ 会議では、生産者数の減少は大きな課題で、今後の財政基盤を安定させるためにも早い段階から総合的な検討を開始すべきとの意見があり、そのためにも引き続き生産者に喜ばれる活動への取り組みの必要性が確認された。



(梅田委員長の進行で進む委員会審議の様子)

- ◎ 外部機関等からの受託事業は、資金面からも有益な効果を発現していることから、実施中の各事業の年度予定等を十分に管理して、積極的に有益な新たな事業提案を考えて欲しい等の意見があった。

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）

- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）

全日畜が10月24日、第5回「全日畜シンポジウム」を開催 昨年度から実施してきたスマート畜産シンポジウムの最終回です。

- ◎ 全日畜は、昨年度からJRAからの受託事業として、スマート畜産の普及啓発活動を実施してきました。シンポジウム「スマート畜産への期待」の開催は、この事業の一環として実施しているもので今回の第5回が最終の開催となります。（事業の最終年度です）。
- ◎ これまで各地で開催してきたシンポジウムは、開催地の特性を生かした企画で実施してきました。今回は最終回でもあり特別講演2題を用意しました。この特別講演は、公益社団法人畜産技術協会のご協力をいただき、昨年海外のスマート畜産の実態を調査された内容をご報告いただきます。
- ◎ スマート畜産技術を導入された生産者からの事例紹介では、急速に導入実績が上がっている酪農経営における「搾乳ロボット」と、最近注目されている養豚経営における「飼養衛生管理システム」の活用事例をご紹介いただくことになっており最終回に相応しい内容となっています。
- ◎ 今後この事業は、実証調査を進め、スマート畜産に関するマニュアルのとりまとめを行うこととしています。

【令和元年度 JRA事業】

全日畜シンポジウム（ファイナル） スマート畜産への期待

【ご挨拶】

私たち畜種横断の畜産生産者の団体である一般社団法人全日本畜産経営者協会（通称「全日畜」）は、令和元年度の日本中央競馬会畜産振興事業として「スマート畜産調査普及事業」を実施しております。近年のICT技術等の急速な発展により、ロボット技術やICT等の先端技術の畜産生産現場への導入は目覚ましいものがあります。全日畜では、この事業の一環として、全国でシンポジウムを開催して、スマート畜産の普及啓発活動を実施してまいります。

今回、最終となります第5回シンポジウムを、関東（千葉市）で開催しますのでご案内いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【全日畜シンポジウムの概要】

1 開催日 令和元年10月24日（木）





	第一部 特別講演会	13:30～14:45
	第二部 事例発表会	14:45～17:15
	第三部 情報交換会	17:30～19:30

2 会場 ホテル ポートプラザ ちば
〒0260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 8-5
TEL 043-247-7211 FAX 043-247-2811

【第一部 特別講演会の概要】

演題 EUにおけるAIやIoTの活用（仮題）
（ドイツ及びデンマークからの報告）

※ AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）

 大和田 勇人 氏	 窪田 カ 氏	<p>工学博士 大和田 勇人 氏 講師 東京理科大学 理工学部 経営工学科 教授 農学博士 窪田 カ 氏 鹿児島大学 共同獣医学部 獣医学系 臨床獣医学講座 教授</p> <p>徳農先進国ドイツにおける農業用機械の国際展示会を視察、その他、先進農家や独立畜産型産所を訪問して調査したスマート畜産技術開発・普及状況</p>
 中久保 亮 氏	 中田 健 氏	<p>農学博士 中久保 亮 氏 講師 国立研究開発法人 農研機構畜産研究部門主任研究員 獣医学博士 中田 健 氏 徳農先進国ドイツ 獣医学部 獣医学系 臨床獣医学講座 教授</p> <p>徳農家、政府、乳業メーカー、牛群検定機関、食肉処理場及び獣医師などで構成される「Danish Cattle Database (DCD)」のデータベース活用の実態</p>

【第二部 事例発表会の概要】

O事例紹介のみなさん

 渡邊 邦 氏	<p>東林農場 代表 農事組合法人 清和畜産 獣医師 菅谷 結子 氏</p>	<p>★ICT技術と外部組織を活用した省力酪農経営 経産牛103頭、肥育牛（F1）、稲作（2.9ha）の飼肉+稲作の複合経営。平成28年度畜産クラスター事業を活用して、平成29年度に搾乳牛舎の建設と搾乳ロボットを導入。搾乳ロボットの導入により、搾乳作業の省力化が図られ、パート従業員1名の追加で飼養頭数規模を約2倍に拡大。</p> <p>★省力化、経営向上を目指し豚経営支援システム「Porker」導入 繁殖母猪600頭を飼育する一貫経営。経営に繁殖成績・肥育成績の最適化支援システムを行う管理システム「Porker」を導入することにより、農場情報の記録・分析・管理の省力化を目指している。</p>
---	--	---

Oモデレーターの紹介

 藤岡 豊 氏	<p>公益社団法人 畜産技術協会 参与 藤岡 豊 氏</p>	 引地 和明 氏
---	--	--

O全日畜からのお知らせ

 松原 英治 氏	<p>スマート畜産調査普及事業技術検討委員会 委員 ★意見交換終了後に、一般の畜産経営者にご利用いただくために、全日畜が事業の一環として取りまとめている、スマート畜産技術に係るノウハウや知識等を記載した「スマート畜産マニュアル（仮称）」について、制作の視点やマニュアルの概要等をご紹介します。</p>
--	--

【第三部 情報交換会の概要】

★ 第二部終了後は、講師や話題提供者と参加された畜産経営者等による第三部情報交換会を開催します。

展示ブース 出展概要	<p>★オリオン機械 株式会社 様 事例発表「東林農場」で導入のドイツ製自動搾乳ロボット等についてご紹介します。</p> <p>★株式会社 Eco-Pork 様 事例発表「清和畜産」で導入の豚経営支援システム「Porker」についてご紹介します。</p> <p>★株式会社 中嶋製作所 様 アンケートで関心の高い「豚舎洗浄ロボット」についてその後の開発状況等をご紹介します。</p> <p>★株式会社 ATOUN 様 課題の「軽量化」、あなたも畜産ロボット「ハードウェア」を装着してみませんか。</p>
---------------	---

O 参加をご希望の方はご連絡ください

- ・ 一般社団法人 千葉県配合飼料価格安定基金協会 TEL 043-224-7824 (瓦井、内田)
- ・ 一般社団法人 全日本畜産経営者協会 TEL 03-3583-8034 (大村、山田)

2019.9.17

（シンポジウムPR版）

（文中での団体の略称表記について）

- ・ 一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・ 一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・ 協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・ 一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）